



町報

こうふ

小さくても元気で明るい輝きのあるまち

2月

2015

No.527

成人おめでとうございませす!!

希望を胸に

— 39名の新成人が誕生 —



▲晴れやかな姿の新成人

平成27年の成人式が、1月11日に山村開発センターで行われました。江府町で生まれ育った皆さんが一同に集い、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典では竹内町長をはじめ多くの方から門出を祝う言葉が贈られ、ゲストからは歌のプレゼントがありました。

式典後のパーティーは、新成人の実行委員による進行で行われ、懐かしい子ども時代からのスライドショーや恩師からのお祝いスピーチなど、江府町での思い出がたっぷり詰まった成人式となりました。

新成人者のみなさん

平成6年4月2日から
平成7年4月1日生まれ
対象39名(敬称略)

本町一丁目 森川圭二郎
本町一丁目 小林 大介
本町二丁目 建井 拓海
本町二丁目 山本 愛
本町三丁目 門脇 貞子
本町三丁目 中川 知夏
本町五丁目 川上 美紀
新町一丁目 藤田 裕義
新町一丁目 古川 泰弘
新町一丁目 松本 憂奈
小江尾 長尾 智瑛
小江尾 長尾 ひかり
小江尾 宇田川 聖水
佐川 坂本 瑛里香
佐川 高木 悠斗
佐川 前田 佑馬
西成 神庭 萌子
袋原 清水 香須恵

大原 神庭 海優
貝田 岡田 泰徳
貝田 森田 風馬
宮原 大澤 聖一
助 加藤 尚子
下 梅田 祐太
下 川上 和臯
御机 加藤 大介
御机 川上 和臯
美用 景山 杏奈
美用 下尾 伸一
美用 田本 彩加
杉谷 末次 祐貴
杉谷 影山 仁美
洲崎 細田 誉将
新河 西岡 美咲
高谷 須藤 大貴
池内 南波 愛理
池内 南波 愛理
日日 高尾 めぐみ
日日 高尾 めぐみ
日日 藤原 晴香

新成人意見発表 (一部抜粋)

故郷への愛を忘れずに

長尾 智瑛さん



▲長尾 智瑛さん

みなさん、成人おめでとうございませう。この20年間はどうか？もう大人の仲間入りですね。僕がここで言いたいことは「親への感謝」と「江府町への愛」という2点です。親への感謝はこういう場を借りてしか言えないとよく言います。でもやはり言葉で伝えることは大切だから、各々伝えておいてください。一言でもいいので。また、江府町への恩返しも忘れてはいけないと思っています。別に何かやるわけじゃなくて、ただ帰って来るだけでも十分恩返しであると感じます。江府町、故郷への愛を忘れないで欲しいです。離れていようと心はみんなここに置いておいて欲しいです。皆が帰ってきたときは集まりましょう、喋りましょう。

こんなに人数が少ない成人式は稀だと思ふけど、僕は人数が少なくて良かったと思ふ。だってみんな仲良しだもんね。この仲間を大切にし、これからの大人になろうね。

家族に支えられて

中川 知夏さん

今日この日を江府中のみんなと迎えることができ、とても嬉しく思います。中学校を卒業してから、それぞれの分野で努力していることと思います。みんながみんなお互いのことを知っていて、幼少期から一緒に過ごしていたこの江府町に生まれて、この学年の一員になれて本当によかったと思っています。

私は今、大学に通っており、家族に支えられていることを強く感じます。両親は自分たちのことより私たち姉弟のことを第一に考えてくれました。20年間育ててくれて本当にありがとうございます。早く自立してその後は自分のために生きていきたいほしいし、たくさん恩返しもしていきたいです。

私たちは、今日この成人式を迎えて、大人の仲間入りをしました。社会への不安はありますが、仲間と助け合いながら自分の良心に従い、笑顔で前向きに頑張っていきたいと思います。



▲中川 知夏さん



成人式フォトギャラリー



▲懐かしい友達と記念にパシャリ！



▲お世話になった先生方と再会



▲晴れやかに新成人が登場



▲NPO水のたねと協力隊から歌のプレゼント

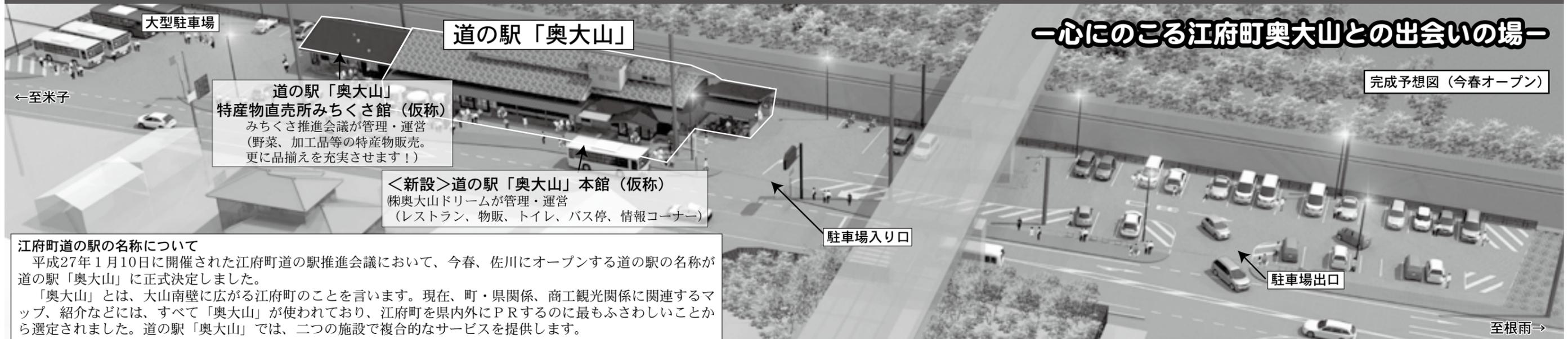


▲手話による町民歌のレクチャーを受けました



▲竹内町長から成人者へ記念品が贈られました

江府町 道の駅「奥大山」に名称が決定！



一心にのこる江府町奥大山との出会いの場

江府町道の駅の名称について

平成27年1月10日に開催された江府町道の駅推進会議において、今春、佐川にオープンする道の駅の名称が道の駅「奥大山」に正式決定しました。

「奥大山」とは、大山南壁に広がる江府町のことを言います。現在、町・県関係、商工観光関係に関連するマップ、紹介などには、すべて「奥大山」が使われており、江府町を県内外にPRするのに最もふさわしいことから選定されました。道の駅「奥大山」では、二つの施設で複合的なサービスを提供します。

江府町道の駅管理運営体制図



道の駅「奥大山」の管理運営体制について

道の駅「奥大山」は、現在新築している物販施設、駐車場、トイレ、情報提供等と江府町みちくさが管理運営している特産物直売所とが連携してサービス提供を行う施設です。

全体の管理運営については商工会会員で設立された（株）奥大山ドリームと江府町みちくさ推進会議による「江府町道の駅連絡協議会」（平成27年4月1日正式発足）を設置し、連携して「道の駅」の管理運営を行い準備を進めています。

現在は、オープンに向けて江府町道の駅連絡協議会準備会として、全体マネジメント、イベントスケジュールなどの協議や新商品の開発を行っています。

＜江府町道の駅連絡協議会役員＞

役職名	氏名	備考
会長	小谷 幸之介	（株）奥大山ドリーム
副会長	三輪 典子	江府町みちくさ推進会議
幹事	岡本 健二	（株）奥大山ドリーム
幹事	川上 まり子	江府町みちくさ推進会議
幹事	清水 和也	（株）奥大山ドリーム
幹事	清水 礼子	江府町みちくさ推進会議
監事	川端 雄 勇	（株）奥大山ドリーム
監事	大森 ひろ子	江府町みちくさ推進会議
事務局長	高津 孝 司	（株）奥大山ドリーム

江府町道の駅連絡協議会 小谷会長、三輪副会長の意気込み！

～ふれあいと、おもてなしのサービスを～

＜（株）奥大山ドリーム 概要＞

設立年月日 平成26年11月
 代表者 小谷 幸之介
 出資者 10名
 資本金 380万円

- ・会社設立の理念
お客様を大切にし、農産物や加工品の出荷者と従業員のみなさんに愛され喜んでもらえる会社を目指します。
- ・名前の由来
江府町奥大山で「夢」を追い続け、「夢」を実現する会社
商工会の役員の方々と出資者の方々の応援で会社を設立することができました。

商工会の若手経営者の仲間と「高齢化の進む江府町」を語り合い、自分たちで何が出来るか、この町を元気で活力ある町にするためには、何が必要かと語り合い「道の駅」に挑戦することを決意しました。

道の駅「奥大山」を中心に、江府町が賑わい、町内外の人がふれあう地方創生の成功事例として全国発信できるように、一同誠心誠意努力する所存です。

この機会に、個人でもグループでも、農産品・加工品の出荷をして下さる方を募集しております。集荷も致しますのでお気軽にご相談ください。



会長 小谷幸之介さん

＜江府町みちくさ推進会議 概要＞

設立年月日 平成14年4月
 代表者 三輪 典子
 会員数 85名

- ・みちくさのモットー
家族が食べておいしいもの、安全なものを提供しています。
- ・主な事業
野菜など特産品を販売
加工品の研究開発
学校、保育園給食の食材供給と食育活動他
- ・名前の由来
誰もが気軽に「寄る」ことが出来る楽しい直売所

道の駅奥大山では、地産地消や食育の実施など「人」との関わりを大切にしたい。更なる地域の交流拠点とします。

テイクアウト商品を充実させて、ここでしか食べることができない「母ちゃんの味」で勝負します！

いろいろな食材を使った試食を沢山作りますので、是非楽しみに来て下さい。

みちくさでは会員も募集中です。生産者同士の楽しいふれあいの場もあります。会員になって一緒に楽しみましょう。



副会長 三輪 典子さん

まちの話題

災害の無い年を祈念して

平成27年 消防出初式



▲江府町消防団と江府消防署による見事な記念放水

とを祈念し万歳三唱が行われま
した。

出初式終了後には江尾地内を
分列行進した後、舟谷川で記念
放水が行われました。

披表彰者（敬称略）

○江府町長表彰 勤続章

第2分団（団員） 道下 尚徳

○江府町長表彰 精勤章

第1分団（団員） 中尾 祐也

第2分団（団員） 大岩 寛明

○江府町長表彰 功績章

第1分団（団員） 土居 洋三

第2分団（団員） 浦部 達洋

○西部消防協会長表彰 功績章

第1分団（団員） 勝負 修平

第2分団（団員） 道下 隆志

○西部消防協会長表彰 勤続章

第1分団（団員） 宮本 宏明

第1分団（団員） 森田 祐基

○鳥取県知事表彰 功績章

第1分団（班長） 中野 寛

○鳥取県消防協会長表彰 勤続章

第2分団（班長） 梅林 明宏

第2分団（班長） 加藤 邦樹

1月6日、消防出初式が山村
開発センターで行われました。
常日頃から消防防災の最前線
に立ち、火災をはじめとしたあ
らゆる災害から地域住民の生
命・財産を守るため日夜献身的
に活動する消防団。
年頭にあたり、長年の活動を
たたえ、勤続期間が節目を迎え
た団員に対し表彰が行われまし
た。また、今年1年が災害なく、
町民皆さんが安全に暮らせるこ

江府町から3名が入賞!!

第12回日野川源流米コンテスト表彰式



▲3名ともお米づくりのベテランです！
（左から末次さん・森田さん・空場さん）

第12回
日野川源流
米コンテス
トの表彰
式が1月14
日水曜日、
JA鳥取西
部日野営農
センターで
開催されま
した。この
大会では、
日野郡内（旧溝口地区を含む）で収穫され
た自慢のお米の美味しさを食味値と人の味
覚で審査するもので今年で12回を迎えます。
今回は過去最高の329点（うち江府町1
01点）の出品があり、そのうち江府町か
らはコシヒカリで末次輝夫さん（杉谷）と
森田照男さん（貝田）が、またひとめぼれ
で空場 語さん（小江尾）がそれぞれ奨励
賞を受賞しました。



▲あべのハルカス（大阪市阿倍野区）
での食味審査も大盛況でした！

また今回は
食味値の測定
で上位に入っ
た4名のお米
については、
昨年の12月に
大阪市阿倍野
区にある「あ

【表彰者】（記載順は日野川源流の上流
から五十音順で表示）

最優秀賞…佐伯 忠重（日南町）

優秀賞…北垣 寿成（日南町）

山形 百年（日南町）

内藤賢一郎（伯耆町）

奨励賞…坪倉 富章（日南町）

農事組合法人エコファームHOSOYA

高橋 秀紀（日南町）

農事組合法人エコファームHOSOYA

三上 惇二（日南町）

生田 茂日野町 末次 輝夫（江府町）

森田 照男（江府町） 空場 語（江府町）

特別賞（最高食味値賞）

…北垣 寿成（日南町） 食味値90

「奥大山 コンニャク料理発表会



▲創作したこんにゃく料理を
発表する日野高校生徒

1月15日、日輪閣にて町主催による奥大山コンニャク料理発表会を行いました。当日は、種芋植付交流会から連携をとっている日野高等学校の生徒と、コンニャク料理とコンニャク加工で協力を得ているみちくさ推進会議が参加。創作したコンニャク料理を奥大山高原野菜研究会の会員や関係機関に披露しました。みちくさ推進会議は「こんにゃく肉まきカツレツ」、「マーボーこんにゃく」他4種類を作り、日野高校生はコンニャクを使ったスイーツ「こんにゃくコンポート」、「あべかわミルクこんにゃく」をそれぞれ作りました。料理の紹介後コンニャク料理の試食をし、感想を聞いたところ参加者からは「こんにゃくと他の素材がマッチしておいしかった」、「見た目はこんにゃくを想像させない」、「帰ったら自分の家でも作ってみたい」などの意見が出されました。今回発表された料理はさらに試作を重ねて来年度オープンする道の駅での販売を目指しています。町では、今後も日野高校と連携して、江府町のこんにゃく芋の特産品化を目指していきます。

「男の料理教室」で 調理にチャレンジ



▲慎重に盛り付けを行う参加者



▲完成した料理

▲レシピとにらめっこ

江府町食生活改善推進協議会主催で毎年行っている「男の料理教室」を、1月24日土曜日に、江府町総合健康福祉センターで行いました。参加者は町内の男性7名で、乳製品を使った料理に挑戦。献立とにらめっこをしながら、「乱切りってどうやって切るの?」「焦げたらどうするの?」など献立に書いてない色々な疑問を、指導する食生活改善推進員に聞きながら、調理を楽しんでいました。試食では「おいしい。」「どれもお酒のおつまみになりそう。」「さくらえびのごはんだけは自分でまた作れそう!」など自宅でも調理へのチャレンジをほのめかす参加者もおられました。年に1回ではありますが、またの参加をお待ちしています。

「社会福祉協議会」に寄付

サントリー労働組合



1月14日、サントリープロダクツ労働組合奥大山支部及びサントリー労働組合大山分会から、江府町社会福祉協議会に一般寄付が行われました。サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場では、工場で働く従業員が中心となって自ら地域貢献活動を行っています。今回の寄付は労働組合による地元江府町への貢献の一つとして行い、従業員が出社した際に募金箱を手に声掛けを行って募金を集めました。この寄付は今後、江府町の福祉の充実のため活用されていきます。

よくある

農地相談Q&A

Q 農地を貸したい場合はどうすればいいの？

A 農地法第3条による貸借権設定もしくは基盤法による利用権設定で農地を貸借することができます。

Q 農地法第3条による貸借権と基盤法による利用権設定はどう違うの？

A 農地法第3条では誰にでも農地を貸すことができます。各集落で定められた耕作面積を満たしている必要があります。また期間が満了になっても契約された両者の解約合意がない限り契約は解除されません。

Q 農地を譲りたい場合はどうすればいいの？

A 農地法第3条による所有権移転の申請が可能です。農業委員会ですべて許可が出て登記を行う事で所有者が変更になります。

根拠となる法律	更新	下限面積
農地法第3条	自動更新	関係ある
基盤法（利用権）	必要	関係ない

また貸借同様、誰でも農地を取得できるわけではありません。

Q 相続などによって農地の権利を取得した時はどうすればいいの？

A 農業委員会への届出をお願いします。

Q 非農地に地目変更する場合はどうすればいいの？

A 農地法第4条、5条、非農地証明の3つがあります。

Q 農地法第4条は、自分の農地を住宅増設などの為に宅地に変更する場合。

Q 農地法第5条は、住宅を増築したくても自分の周囲に農地がなく親の農地を宅地に変更する場合等。

Q 非農地証明は、戦前から住宅地として使用しているが登記簿上では農地であり、それを変更する場合。

非農地証明の対象となる農地は①農地法が施行される（昭和27年10月21日）以前から非農地であった土地②災害の為に農地への復旧が見込めない土地③農地法施行後、20年以上経過しており、農業行政上も特に支障のない土地等が挙げられます。

Q 無断で農地を転用するとどうなるの？

A 工事の中止や原状回復などの命令がなされたり（農地法第51条）、3年以下の懲役や300万円以下の罰金が科せられる（農地法第64条）場合があります。転用される際は、必ず農業委員会までご相談ください。

パソコン農業簿記講習会開催のお知らせ

2月16日(月) 午前9時30分～正午
2月27日(金) 午後1時30分～4時
江府町防災情報センターで開催します。ぜひご利用ください。



農業委員会総会（1月）

審議案件すべて承認されました。
農地法第3条の規定による許可申請について 1件
非農地証明の申請について 4件
農業振興地域整備計画の変更に 1件
係る意見具申について 1件
農用地利用集積計画（案）について 3件
農業委員会選挙人名簿登載申請書の審査について 3件

2月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成27年2月26日（木）

午後1時30分から午後4時まで

◎場所 江府町山村開発センター

奥大山スキー大会を開催

1月24日(土)に奥大山スキー場にて第40回奥大山スキー大会が開催されました。町内外や県外から約80名が参加し、1秒でもタイムを短くしようと、懸命な滑りを見せていました。

〈大会結果〉

○大回転

小学校女子低学年

優勝 兜山 真希(大山小)
 準優勝 伊澤 想良(大山小)
 第3位 中田 花菜(大山小)
 第4位 椎木 美優(大山小)

小学校男子低学年

優勝 内田 葵(日南小)
 準優勝 柳生 健洋(日南小)
 第3位 中田 豪(江府小)
 第4位 兜山 勇輝(大山小)

小学校女子高学年

優勝 兜山 美佳(大山小)
 準優勝 内田 南海(日南小)
 第3位 中田 仁子(大山小)
 第4位 西下 美羽(日南小)
 第5位 山本 紫月(江府小)
 第6位 河上 知奈(江府小)

小学校男子高学年

優勝 長尾 駿弥(日南小)
 準優勝 浅川 陽翔(日南小)
 第3位 柳生 恭映(日南小)
 第4位 西下 涼(日南小)
 第5位 安部 汰造(江府小)
 第6位 影山 大貴(江府小)

中学校女子

優勝 小谷 未空(岸本中)

中学校男子

優勝 柳生 考勇(日南中)
 準優勝 内田 青空(日南中)
 第3位 椎木 大成(大山中)

一般女子

優勝 白神 悦子(三菱自工水島スキー山岳部)

一般男子

優勝 加藤 匠(奥大山SC)

準優勝 中田 尚(奥大山SC)

成年男子

第3位 内田 敦郎(株神戸上農林)

優勝 穴沢 正(コスモファイブレーシング)

準優勝 加藤 義也(奥大山SC)
 第3位 山下 寿朗(三菱自工水島スキー山岳部)
 スノーボード女子
 優勝 大江 宏美(奥大山SC)

○距離

小学校女子低学年

優勝 丸山 倅芽(日光小)
 準優勝 福田 稀里(日南小)
 第3位 小谷 花実(日南小)
 第4位 浅田 純伶(日南小)

小学校男子低学年

優勝 浅田 溪達(日南小)
 準優勝 永松 良治(日光小)
 第3位 小林こはる(日光小)
 第4位 福田 柚月(日南小)

小学校女子高学年

優勝 浅田 夏光(日南小)
 準優勝 小林ハルコ(日光小)
 第3位 河本 海(名和小)
 第4位 福田 仁(名和小)

小学校男子高学年

優勝 河本 海(名和小)
 準優勝 河本 仁(名和小)
 第3位 神庭 育歩(日光小)
 第4位 佐々木 昂(日光小)
 第5位 原 生命(日南小)

中学校女子

優勝 遠藤 葵恵(溝口中)
 準優勝 本田 萌果(溝口中)

中学校男子

優勝 遠藤 一希(溝口中)



江府町・西ノ島町交歓スキー教室

～13人の“友だち”と再会～



1月26日（月）から28日（水）までの3日間、西ノ島小学校5年生13名が姉妹町である江府町を訪れ、交歓スキー教室に参加しました。

児童たちは元気いっぱいスキーを楽しみ、江府小学校5年生と親睦を深めました。



1日目は、班に分かれて約1時間のスキー教室へ。西ノ島児童のほとんどがスキー初体験。奥大山スキー学校の指導員さんに、スキー靴の履き方から板を履いての歩き方まで、基礎から学びました。

宿舎に戻ってからは、児童交流会。学校紹介やクイズなど交流を深めました。



2日目も、朝からスキーを履いて出発。「足は八の字」を合言葉に、斜面の滑り方を学びました。江府の児童のサポートもあり、午後にはリフトに乗って滑れるまでに上達しました。



3日目は、会場を奥大山スキー場へ移してのスキー教室。慣れた足さばきでゲレンデを滑走し、思う存分スキーを堪能していました。

帰りには、江府の児童が防災情報センターまで見送りに。手紙を交換し、バスに乗っている友だちが見えなくなるまで手を振り続けました。

保・小・中連携だより

よりよい授業、よりよい支援を求めて



ペア学習で考えを伝えたり、聞いたりします。

プロジェクターを使って、全体に説明をします。



授業研究会でも、小中の先生方が熱心に協議。各グループの話し合いの内容は、中学校の先生が報告されました。

子ども達が生き生きと学ぶ授業をめざすことは、教師の願いでもあり使命でもあります。江府町では、保育園・小学校・中学校が連携してよりよい授業づくりを進めています。

1月21日、小学校を会場とした小中合同授業研究会が開催されました。江府小・江府中の先生方がざらりと並んで参観されるなかでしたが、2年生の子ども達は、一生けん命に算数の学習に取り組みました。授業後に行われた研究会では、小グループに分かれて、授業の良かった点・改善すべき点等について話し合われました。小学校2年生の授業ではありますが、課題を解決する活動を通して、思考力や判断力、表現力を伸ばすということは、すべての授業に通じることです。中学校の先生からも「授業づくりを見直す機会になりました」という感想もあり、学校を超えた充実した研究会になりました。

このように、江府町では、よりよい授業よりよい支援のための研修会を保小中が連携して行っています。

研修会では、講義のほかに、モデルケースをもとにしたワークショップも行われました。学校生活に困難さを抱える子ども達の課題克服に向け、様々な視点からアイデアが出され、どのグループも深まりのある話し合いが行われました。本町でスクールソーシャルワーク事業を始めて3年目になりますが、先生方の視点が確実に変わってきていることを実感する研修会になりました。



昨年度に引き続き、郭先生による講義



グループに分かれてワークショップ

最近「スクールソーシャルワーク」という言葉を目にするようになりました。これは、子どもだけを見るのではなく、その子を取り巻く学校や地域、家庭などの環境も含めてみていくということです。全ての子ども達が健やかに学校生活を送るために、そのような視点で一人一人を理解し支援することはとても大切なことです。

12月26日、郭理恵先生（大阪人間科学大学）を講師とする江府町スクールソーシャルワーク研修会が開催されました。研修会には、保育園・小学校・中学校の先生方だけでなく、福祉保健課の保健師や他町のスクールソーシャルワーカーの方も参加されました。

おたより * 町立図書館

開館時間 平日 8:30~19:00
土日祝 8:45~17:30

★ 今月のおすすめの一節 ★

青年……厳しい。先生の哲学は、あまりにも厳しい！
哲人 たしかに、劇薬かもしれません。

青年 劇薬ですとも！

哲人 ですが、世界や自分への意味づけ（ライフスタイル）を変えれば、世界との関わり方、そして行動までもが変わらざるをえなくなります。この「変わらざるをえない」というところを忘れないでください。あなたは「あなた」のまま、ただライフスタイルを選びなおせばいい。厳しい話かもしれませんが、シンプルです。

青年 そうじゃない、わたしのいっている厳しさは違います！ 先生のお話を聞いていると、「トラウマなど存在しないし、環境も関係ない。なににもかもが身から出た錆なのであって、お前の不幸はすべてお前のせいだ」と、これまでの自分を断罪されている気分になってくるんですよ！

哲人 いえ、断罪しているではありません。むしろ、アドラーの目的論は「これまでの人生になにがあったとしても、今後の人生をどう生きるかについてなんの影響もない」といっているのです。自分の人生を決めるのは、「いま、ここ」に生きるあなたなのだ、と。

——岸見一郎・古賀史健『嫌われる勇氣』より

★ 今月の新着図書 ★

* 一般書

足立美術館 * 四季の庭園美と近代日本画コレクション / 足立美術館

「自分」の壁 / 養老孟司

心の力 / 姜尚中

叱られる力 / 阿川佐和子

嫌われる勇氣 / 岸見一郎・古賀史健

21歳男子、過疎の山村に住むことにしました / 水柿大地

ペナンブラ氏の24時間書店 / ロビン・スローン

悟浄出立 / 万城目学

* 児童

忍者の教科書 / 伊賀忍者研究会

親子で学ぶはじめての書道 / 石飛博光

親子で楽しむ * こどもペット塾 / 勝俣和悦

なぞなぞフッフーフー / 武田美穂

フロイト、ユングと並ぶ心理学三大巨匠の一人、アドラーの思想（アドラー心理学）を、「青年と哲人の対話篇」という物語形式を用いてまとめた一冊。人生つまらない、自分は不幸だ、とネガティブな考えにとらわれている青年は、自分を変え、一歩進むことができるのか、それとも？ 青年と共に「扉」の先へと進みましょう…。

☆☆★ 今月の*おしらせ ☆☆☆ ~江府小学校5年生おすすめの本1冊展示中~

宮沢賢治の『注文の多い料理店』を個性豊かに紹介しています。『セロ弾きのゴーシュ』『風の又三郎』など、宮沢賢治の本も多数展示していますので是非お立ち寄りください！

カーニー先生のほのぼのコラム③⑩

Hello everyone,
Happy New Year!

This year, Joshua and I watched Kouhaku Utagassen on New Year's Eve; of course, I cheered for the red team, but the white team won again. That's what, three years in a row now that the white team has won? I hope the red team wins one day! After Kouhaku finished, we went to the shrine in Kofu. Last year, we bought a daruma and made a wish on it, so we took that daruma to the shrine to burn it. We bought a new one and made another wish. I hope it comes true!

This year, Joshua and I made our first snowman. We tried to two years ago, but it was very difficult since we've never done one before, and then the snow melted and went away. Last year there wasn't much snow, so we didn't have a chance to try to build one. This year, there was lots of snow, so we decided to try. It came out looking a little silly, but we're glad we made one. Koebi-chan kept stealing the snowman's sticks (which we used for his arms).

I hear there will be much snow again soon. Stay warm and safe, everyone!

~Connie

皆さん、こんにちは。

あけましておめでとございます。

今年、ジョシュアと私は大晦日に紅白歌合戦を観ました。もちろん、私は赤組を応援していましたが、また白組が勝ってしまいました。3年間ずっと勝っていますよね。どうしてでしょうね。いつか赤組に勝って欲しいです。紅白が終わった後、私達は神社に行きました。去年、ダルマを買って願い事をしたので、そのダルマを神社に持って行って燃やしました。そして、新しいダルマを買って願い事をしました。願いが叶いますように！！

また、今年、ジョシュアと私は、私たちにとって初めての雪だるまを作りました。2年前にも挑戦しましたが、それまでやったことがなかったので、とても難しかったし、雪もすぐに融けて無くなってしまいました。そして、去年はあまり雪が降らなかったので、作るチャンスもなかったです。でも、今年は雪がたくさん積りましたから、作ってみる事にしました。できた雪だるまは、なんかちょっと変な形でしたが、やっと作ることができたので嬉しかったです。ところが、小江尾ちゃんが、その雪だるまの腕に見たてた木の枝を取ろうとして大変だったんですよ。

また、たくさん雪が降るようなことを聞きました。みなさん、暖かくして、元気でいてくださいね。

カーニーより



子供の国保育園の改修が完了しました！

平成26年9月末から始まった、子供の国保育園の改修工事が、1月末に完了しました。

改修の内容は、

- ①厨房の40㎡増設
- ②厨房機器の更新
- ③遊戯室フローリング張替
- ④事務室などのエアコン整備

です。早速子ども達はフローリングが新しくなった遊戯室で元気に運動を行っていました。

また、新しい厨房による給食は2月2日から始まっています。

今回の改修により、より充実した子育て環境の中で、子ども達はスクスクと成長しています。



◀床が新しくなった遊戯室

▲最新の設備に更新した厨房

学校給食センター新築中！

平成27年3月末を完成予定に、現在江府町立学校給食センターの新築工事が行われています。

新センターの特徴として、調理場の床面を乾いた状態に保ち衛生的な調理作業が行えるドライシステムの導入や、アレルギーを持つ子ども達に対応するため、アレルギー食専用の調理室を整備することなどがあります。

新給食センターの完成により、子ども達へより安心安全な給食の提供が期待されます。



▲学校給食センター完成予想図

平成26年度江府町人権・同和問題小地域懇談会 反省会を開催



▲全体会の様子

1月7日（水）に小地域懇談会の反省会を実施しました。

出向者及び集落の人権・同和教育推進員の出席のもと、小地域懇談会の反省や課題、成果など活発な討議が行われました。参加者からの意見としては、「身近で話しやすいテーマではあったが、人権につながるのが難しかった」「多くの人に参加してもらうには、集落の呼びかけだけでなく、各種団体にも呼びかけをお願いしてみてもどうか」などがあり、来年度へ向けての有意義な会となりました。

日野高校における地域交流活動紹介

日野高校では、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校づくりの一助とするとともに、農業の持つ多面的機能を活用し、交流活動を通して小学生の教育の場や地域の方の生涯学習の支援を行う目的で、日野高ショップ以外にも様々な活動を行っています。今回はその一部をご紹介します。

■鏡陵大学（きょうりょうだいがく）

高齢者及び女性等、幅広い層の人に学校農場を開放して作物・野菜・草花の栽培、食品加工（そば、うどん、豆腐、コンニャク、肉加工）の体験活動を行い、「食」の大切さを学習します。

毎年、50名程度の受講生を募集しています。期間は5月末～翌年3月で、月一回のペースで開講しています。5月初旬より受講生の募集を行いますので、興味のある方は、日野高校（0859-72-0365 鏡陵大学担当者）までお問い合わせください。



▲サツマイモ定植



▲福祉餅つき

■福祉そば打ち・福祉餅つき

授業の中で1年間かけてそばともち米を栽培し、これらを材料として年末に地域のボランティア団体と共同でそば打ち・餅つきを行っています。生徒が直接地域の特別養護老人ホームや独居の高齢者宅に配布することで、栽培から加工までの過程を学ぶと共に、ボランティア意識が育まれています。

■ちびっ子農業体験

地域の小学生に、本校の農場でサツマイモ苗の定植、田植え、田車押し体験、芋掘り、稲刈りなどの体験活動を年8回程度実施しています。

米作りでは、小学生が田んぼに足をとられながら悪戦苦闘しているところを、高校生がうまく手助けをしています。芋ほりでは、大きな芋を見つけて皆が歓声をあげています。



▲田車押し

地域おこし協力隊通信

No.10

「NPO法人奥大山倶楽部」 ついに認証されました！

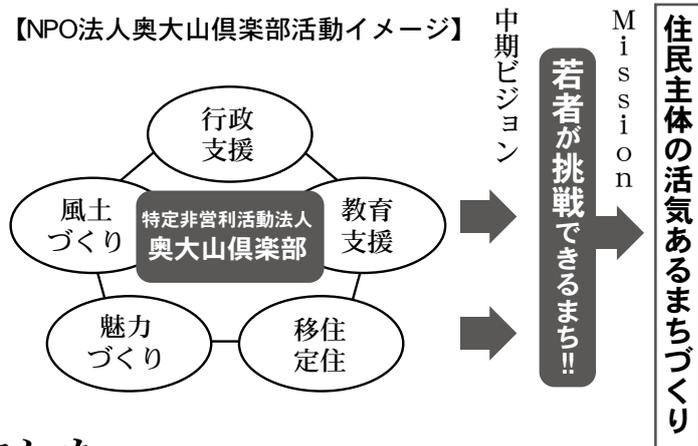
●まちづくり班●

先月の町報でも少し紹介させて頂きましたが、この度私たちは江府町が抱える課題を解決しより良いまちにしていくためNPO法人を設立しました。現在、江府町内にはNPO法人が一つもありません。社会課題先進国と呼ばれる日本では政府や行政だけでは解決することはできない課題も多くあります。今後は民間そして、住民が主体となった活気あるまちづくりを行うために様々な事業を行い、身近な地域の課題解決にチャレンジしていかなければならないと考えております。江府町の産業や雇用さらなる魅力づくりといった面で、江府町がより良いまちになっていくことを目指して活動していきます。

(まちづくり班・清水祐花)



【NPO法人奥大山倶楽部活動イメージ】



奥大山高原みその加工が始まりました。



▲美味しいみそ作りのため手作業で頑張っています

●農業班●

農事組合法人宮市の恒例行事、奥大山高原みその加工が始まりました。

特別栽培で作ったお米と大豆を使い、すべて手作業で仕込んでいます。

一番大切なのが仕込みの作業で大豆と米麴と塩を混ぜ合わせ地下タンクで天然熟成させることです。地下タンクに入れるのももちろん人の手でやっています。

地下タンクの中に入って熟成に差が出たりカビが出たりするのを防ぐために、これらをていねいに敷き詰めます。量が増えると足が味噌の中に埋まるので、足を抜くのが大変になってきます。作業の大変さを実感しました。

写真は蒸し上がったお米を米麴にするため、冷やす作業です。
(農業班・片岡薫哉)

阪神淡路大震災から20年

絆の鎮魂雪地蔵に密着取材

平成7年1月17日午前5時46分、淡路島北部の明石海峡を震源地として大都市神戸市を中心に大災害をもたらした阪神淡路大震災。当時江府町は、すぐさま奥大山の水やおにぎりなどの救援物資を届け、被災者から多くの感謝を受けました。
あれから20年。当時の絆は、雪地蔵という形に姿を変えて今なお続いています。

奥大山の雪を神戸市へ

1月16日午前9時、笠原のサントリー奥大山ブナの森工場で雪の積み込み作業が行われました。この雪は神戸市役所近くで行われる「阪神淡路大震災1・17のつどい」で犠牲者を追悼する雪地蔵として使われるものです。この取組みは、江府町と神戸市魚崎町が姉妹盟約を結んでいることをきっかけに6年前から始まり、今年で5回目を数えます。

サントリー天然水奥大山ブナの森工場と日本通運米子支店のご協力により、特に綺麗な奥大山の雪を4トトラックに積み込みました。

午前10時、関係者に見守られる中、雪を積んだトラックは神戸市に向け出発しました。



▲トラックに綺麗な雪を積み込む



▲奥大山の雪をのせたトラックが会場に到着

会場に到着

追悼の竹灯ろうが無数に

高速道路を走ること3時間。午後2時15分に「1・17のつどい」が行われる、神戸市東遊園地に到着しました。

会場では、翌日行われる追悼セレモニーのため、着々と準備が行われています。中でも目を引くのが無数に横たわる竹筒。実行委員の方に話を聞いたところ、約1万本あるとのこと。毎年ボランティアの方から頂くもので、当日は竹灯ろうとして中に水を入れてロウソクを浮かべ、そこに点灯し犠牲者の冥福を祈るそうです。多くの方が竹筒に「命」や「感謝」といった、復興へ向けた

メッセージを書いていました。前日の会場準備には、約600名のボランティアの方が参加し、午後3時から作業を開始。実行委員会の指示に従い、竹筒を「1・17」の形になるよう1列4〜5本ずつ綺麗に立てていきます。お年寄りから子供まで幅広い年齢の方々が、協力しながら1本1本丁寧に竹筒を並べていました。

会場周辺には、復興までの形跡を撮影した写真展や炊き出しボランティアなどのブースが並び、20周年の節目とあって多くのマスコミが駆けつけていました。

会場を周っていると「阪神淡路大震災1・17のつどい協力者」という看板が。内容を見ると、竹筒やロウソクを提供したボランティアグループなどの名前がびっしりと並んでいます。その中に江府町の名前を発見。なんと協力者名簿の一番初めに「鳥取県江府町」と表示されており、改めて神戸市の皆さんからの感謝を強く感じました。



▲竹筒に想いを記す参加者

雪地蔵の製作始まる

雪地蔵の製作が始まったのは、竹筒の作業が落ち着いた午後4時。

神戸市中央区にある神港（しんこう）学園野球部の生徒や先生・保護者、そのほか一般のボランティアの方が一齐にトラックから江府町の雪を下ろします。トラックのカバーを外され雪が見えると、「綺麗な雪やねー！」「真っ白！」といった声が聞かれました。

雪地蔵の作り方は、トラックから下ろした雪を大きなバケツに入れ地蔵の胴体部分とし、次に小さなバケツに入れた雪を上にかぶせて頭の部分にします。それを思い思いの地蔵の顔にし、形を整えて完成します。



▲雪を下ろす神港学園野球部のみなさん



▲みんなで作る個性豊かな雪地蔵

雪地蔵への思い

雪地蔵への思い入れについて、作業を指揮している神港学園の先生に話を聞くことができました。

「6年前に始まって以来、高校生、女性、ボランティアの方など、たくさんの方々が雪地蔵作りになぜか関わってきました。雪地蔵で一番思い出深いのは、地蔵を作った後に生徒が書いた感想文。雪地蔵は行事が終わると水をかけて溶かすんですが、なかなか溶けない。その出来事に生徒が『さみしくて天国に行きたがらないのかなあ』と感想を述べていたんです。」



▲震災からの年数と同じ20体の雪地蔵が完成

毎年この雪地蔵の前で手を合わせる人がいます。生徒達にはそれを実際に見て、どんな思いをもって手を合わせていらっしゃるのか、どういう気持ちで私たちは地蔵を作ればいいのかという事を一番感じて欲しいです。地蔵の顔や形はどんな形でもいい。この雪地蔵はたんなる雪地蔵ではなく、震災で犠牲になられた方がこの地に帰ってくるためのもの。それだけの思いを込めて作っています。」

作業が終わったのは午後6時前。江府町から届けた雪が20体の見事な雪地蔵になりました。午後7時、雪地蔵の完成を見届け会場の準備も終わった頃、この日は会場を後にしました。

1月17日午前5時46分
黙とうで静まり返る会場

1月17日、午前4時に会場に到着するとすでに多くの参加者が集まり、竹灯ろうへ点火する準備を始めていました。

午前5時、平成12年以来絶やすことなく引き継がれる『希望の灯り』が会場に到着。参加者はその灯りを一つ、また一つと隣の方へ増やしていき、それぞれが竹灯ろうに火をともしていきました。

そして午前5時46分。20年前震災が発生したのと同じ時刻、6、4、34名の犠牲者の方の冥福を祈り黙とうが行われました。しんと静まり返る会場。遺族の方でしょうか、時折すすり泣くような声が聞こえました。雪地蔵の前でも多くの方が手を合わせています。江府町の雪が神戸市に渡り、神戸の方の手で雪地蔵になり、地蔵の前で手を合わせる方の姿を実際に目の当たりにし、感慨を覚えながら江府町への帰路につきました。



▲「絆—奥大山江府町」と書かれた雪地蔵横の灯ろうに火をともし子供

引っ越しのときは 住所の変更を忘れずに

春は就職や入学、転勤など、引っ越しが多い時期です。住民登録は、さまざまな行政サービスの基礎となりますので、忘れずに手続きをお願いします。

届出ができるのは、本人または同じ世帯の方です。あわせて保険証や年金、各種手当、水道などの手続きが必要な場合があります。

お問い合わせは住民課（TEL 75-3223）まで。

住所や戸籍の届出は正確にし、
あなたの権利を守りましょう

種類	いつ	必要なもの
転入届 町外→町内	転入した日から14日以内	・印鑑 ・本人確認ができるもの ・転出証明書
転出届 町内→町外	転出する前	・印鑑 ・本人確認ができるもの
転居届 町内→町内	転居した日から14日以内	

鳥取県後期高齢者

医療懇話会委員の募集

後期高齢者医療制度の運営等について、被保険者の皆様のご意見を伺うために設置した懇話会の公募委員を募集します。

●任期

平成27年4月1日から平成29年3月31日

●応募資格

鳥取県後期高齢者医療の被保険者の方

（平成27年4月1日現在）

●募集人員

6名以内

●応募期限

平成27年3月16日（月）必着

●応募方法

募集要項についている応募申込書に、必要事項を記載して提出してください。

※募集要領・応募申込書は左記の問い合わせ先のほか、役場福祉保健課でも配布しています。また左記のホームページからも印刷できます。

ホームページ
<http://www.kourei-kouiki-tottori.jp>

【応募先・問い合わせ先】

〒689-10714

鳥取県東伯郡湯梨浜町大字龍島500番地

鳥取県後期高齢者医療広域連合 総務課

（TEL）0858-32-1097

（FAX）0858-32-1067

家畜を飼育する皆様へ 頭羽数等に関する届出をお願いします

鳥取県西部家畜保健衛生所

家畜伝染病予防法が改正され、家畜等（牛、鹿、めん羊、山羊、馬、豚、いのしし、鶏、うずら、あひる、七面鳥、きじ、だちょう、ほろほろ鳥）を飼育されている方は、毎年2月1日現在の頭羽数等について、左記により届出書を提出していただくこととなっています。

この届出がなされない場合、罰則が適用される場合がありますので、御理解と御協力をお願いします。

■届出先

鳥取県西部家畜保健衛生所

〒689-4213

西伯郡伯耆町金屋谷1540-17

☎ 0859-62-0140

■提出期限

(1) 牛、鹿、めん羊、山羊、馬、豚、いのしし

↓平成27年4月15日

(2) 鶏、うずら、あひる、七面鳥、きじ、だちょう、ほろほろ鳥

↓平成27年6月15日

↓平成27年6月15日

■届出様式の入手方法

・江府町農林課（☎ 0859-75-6610）

・鳥取県西部家畜保健衛生所窓口

・鳥取県西部家畜保健衛生所ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukahou>

■問合せ先

鳥取県西部家畜保健衛生所

☎ 0859-62-0140

皆生温泉旅館組合による 運転免許自主返納者特典制度が 始まりました

皆生温泉旅館組合では運転免許を自主返納された方を対象に、温泉の入浴料2割引の特典を平成27年1月より開始しました。

運転免許を自主返納したときに取得できる「運転経歴証明書」を、入浴の際にフロントでご提示していただくと、入浴料が割引されます。

なお、対象は八橋、米子、境港及び黒坂警察署管内にお住まいの方で、特典の有効期間は、運転経歴証明書を発行してから1年間です。

特典を行う16旅館

華水亭、皆生ランドホテル天水、いこい亭、菊萬、海色・湯の宿、松月、皆生菊乃家、皆生つるや、皆生の宿ゆるり、松涛園、かいけ彩朝楽、東光園、芙蓉別館、海潮園、三井別館、旅館浦島、旅館三井、ふそう別館

※詳しくは、黒坂警察署

(☎0859-74-0110) までお問い合わせください。



お気軽にご相談を 土地境界に関する無料相談会

■とき

平成27年3月14日(土)
10時から16時
(受付時間10時から15時)

■ところ

米子市文化ホール

■内容

土地の境界に関する相談、土地・建物の表示に関する登記(土地測量・分筆・地目変更、建物新築・増築・取り壊しの登記など)に、土地家屋調査士が無料で相談に応じます。

■問い合わせ先

鳥取県土地家屋調査士会
☎0857-22-7038

労働セミナーのご案内

基本的な労働関係法令等の学習機会を提供し、労働者・経営者間の紛争防止を図ることを目的として、下記の日程で労働セミナーを開催いたします。

■テーマ

職場のトラブルと対処法
く労働相談の現場からく残業代、退職など

■講師

鳥取県中小企業労働相談所みなくる相談員
労使ネットとつとり 事務局職員

■日時

2月26日(木) 13時30分～15時

■会場

米子市立図書館2階研修室(米子市中町8)

■参加 無料

■対象者 どなたでも参加可能

※雇用保険の失業給付を受給中の方は、求職活動実績のポイントとなります。

■定員 60人

■申込 必要

(電話もしくはFAXでお申込みください)
※当日参加も可能ですが、資料準備のため事前申込をお願いします

■申込・お問合せ先

鳥取県中小企業労働相談所 みなくる米子
(平日9時30分～18時)

TEL 0859-31-8785
FAX 0859-21-0034

■共催 米子市立図書館

食生活改善推進員養成講座の参加者募集！

実施日時・内容

対象者 町内在住者で、食生活改善推進員として地域での健康づくり活動をしていただける方

会場 江府町総合健康福祉センター

参加費 テキスト代金2,000円程度をご用意ください。

申し込み締め切り
平成27年2月20日（金）

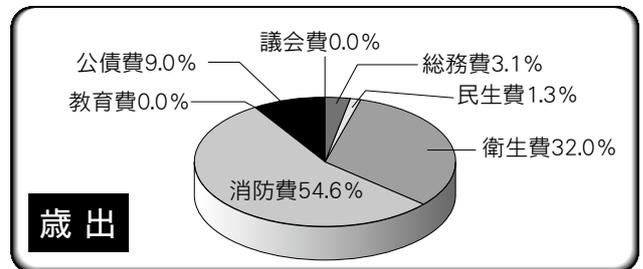
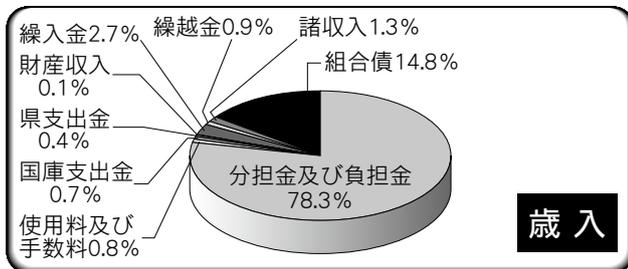
申し込み・問い合わせ先
福祉保健課 電話75-6111
担当：加藤

*全ての講座を修了すると食生活改善推進員として認定します。なお、欠席などで時間数が不足の場合は補足講座もありますのでご相談ください。

日 時	内 容
第1回 会議室 平成27年3月2日（月） 午前9時～午後2時	開講式
	養成講座の進め方説明、自己紹介など
	調理実習：献立の見方、計量方法 講義：国民の健康状況と生活習慣病予防
第2回 栄養指導実習室 平成27年3月6日（金） 午前9時～午後3時	講義：食育(食事バランスガイド)
	講義：健康日本21
	調理実習：バランスの良い食事
第3回 栄養指導実習室 平成27年3月9日（月） 午前9時～午後3時	講義：身体活動と運動
	講義：食品衛生と食環境保全
	調理実習：減塩と野菜
第4回 栄養指導実習室 平成27年3月11日（水） 午前9時～午後2時	講義・実技：身体活動と運動
	調理実習：高齢期の食事
	閉講式

平成25年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計 決算の概要

平成25年度の鳥取県西部広域行政管理組合一般会計の決算は、歳入総額が66億2,473万円、歳出総額が65億7,048万円となり、歳入から歳出を差し引いた5,425万円は翌年度に繰り越しました。



歳入区分	決算額
分担金及び負担金	51億8,782万円
使用料及び手数料	5,158万円
国庫支出金	4,868万円
県支出金	2,874万円
財産収入	522万円
繰入金	1億7,741万円
繰越金	5,957万円
諸収入	8,861万円
組合債	9億7,710万円
合計	66億2,473万円

市町村別の内訳は次のとおりです。

米子市	28億4,226万円
境港市	6億5,960万円
日吉津村	1億1,478万円
大山町	4億5,806万円
南部町	3億4,171万円
伯耆町	3億5,006万円
日南町	1億7,317万円
日野町	1億2,789万円
江府町	1億2,030万円

歳出区分	決算額
議会費	62万円
総務費	2億353万円
民生費	8,616万円
衛生費	20億9,929万円
消防費	35億8,964万円
教育費	216万円
公債費	5億8,907万円
合計	65億7,048万円

※表中の決算額は万円単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○お問合せ 鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課 0859-22-7722

鳥取県西部広域行政管理組合の入札参加資格及び入札案件公表について

鳥取県西部広域行政管理組合が発注する指名競争入札に参加するには、組合を組織する市町村（米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町）のいずれかで、指名競争入札に参加する資格を有する必要があります。入札参加資格をお持ちでない場合は、いずれかの市町村で手続きをしてください。

なお、組合の入札案件は、組合ホームページ (<http://www.tottori-seibukoiki.jp/>) にて公表されます。

■問合せ 鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課入札財政係 (☎22-7722)

日曜日	行事名	場所	時間
15日	公民館講座（手話）	防災・情報センター	13:00～14:30
16月	公民館講座（墨彩画） 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 役場本庁舎のみ	13:30～15:30 ～19:00
17火	広域隣保活動（あみもの） こどもの国保育園児フッ素塗布	本町五丁目集会所 総合健康福祉センター	9:30～12:00 受付 年長・年中 13:00～13:30 年少・未満児 14:00～14:30
18水	公民館講座（大正琴） 消費生活相談窓口	防災・情報センター 総合健康福祉センター	13:30～15:00 9:00～16:00
19木	明德学園 公民館講座（陶芸） 補聴器相談会 （トーン補聴器センター） 下安井出張福祉保健講座 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 高齢者創作館 総合健康福祉センター 下安井多目的集会所 役場本庁舎のみ	9:30～16:00 13:00～16:00 13:30～15:00 13:30～15:30 ～19:00
20金	ぼちぼち倶楽部	総合健康福祉センター	13:30～15:30
21土			
22日			
23月	公民館講座（押し花） 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 役場本庁舎のみ	13:00～17:00 ～19:00
24火	1歳6か月児・2歳児・3歳児健診	総合健康福祉センター	受付 13:00～13:30
25水			
26木	公民館講座（社交ダンス） 公民館講座（ヒップホップ） 補聴器相談会 （中国補聴器センター） もの忘れ外来 農地相談会 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 防災・情報センター 総合健康福祉センター 江尾診療所 山村開発センター 役場本庁舎のみ	14:00～16:00 19:00～20:30 9:30～11:30 13:00～16:00 13:30～16:00 ～19:00
27金			
28土	公民館講座（和紙折紙） 広域隣保活動（カラオケ）	防災・情報センター 本町五丁目集会所	13:30～15:30 14:00～16:00

日曜日	行事名	場所	時間
1日			
2月	証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	役場本庁舎のみ	～19:00
3火	江尾の会 見守り講演会	総合健康福祉センター 防災・情報センター	9:30～11:30 13:30～15:30
4水	公民館講座（大正琴）	防災・情報センター	13:30～15:00
5木	もの忘れ外来 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	江尾診療所 役場本庁舎のみ	13:00～16:00 ～19:00
6金			
7土			
8日			
9月	公民館講座（絵手紙・油絵） 広域隣保活動（元気クラブ） 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 本町五丁目集会所 役場本庁舎のみ	13:30～15:30 10:00～11:30 ～19:00
10火	助澤出張福祉保健講座 卒業式（江府中学校）	助澤多目的集会所 江府中学校	10:00～11:30 10:00～
11水	人権・行政相談 消費生活相談窓口	防災・情報センター 総合健康福祉センター	9:00～12:00 9:00～16:00
12木	公民館講座（社交ダンス） 公民館講座（ヒップホップ） 広域隣保活動（生花） 家族の会 証明書発行窓口延長 （住民票、印鑑、所得、納税証明）	防災・情報センター 防災・情報センター 本町五丁目集会所 総合健康福祉センター 役場本庁舎のみ	14:00～16:00 19:00～20:30 19:00～21:00 10:00～12:00 ～19:00
13金			
14土			

今月の国民年金
納付期限 2月分 平成27年3月31日まで
日本年金機構から送られてくる納付書を添えて金融機関で支払ってください。なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

鳥取県の奥深い話題満載！
県総合情報誌『とっとりNOW』
105号（3月1日発行）
好評発売中！
■取扱場所／
下記事務局、県内書店ほか
■定価／1部309円（税込）
【問】鳥取県広報連絡協議会
（県庁内） ☎0857-26-7086



最先端の地震観測の講演会の開催
—ご案内—

地震の基礎知識、山陰地方の地震活動についての講演会があります。ご興味のある方は、ご参加ください。
■日時 平成27年3月14日 午後2時～
■場所 米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」
■その他 申し込みは必要ありません。入場無料です。
○問い合わせ先
鳥取県危機管理政策課
TEL 0857-26-7894 広域防災担当 まで

■まちの人口 3,196人 (-9)
男 1,503人 (-6)
女 1,693人 (-3)
■世帯数 1,097世帯 (-3)
1月末現在 () は前月比

応援ありがとうございます！
ふるさと納税
延申込件数 673件
（前月比+162件）
延寄付金額 816万円
（前月比+191万円）
平成27年2月1日現在

◎ご結婚を祝します 1月届（敬称略）
森谷 哲郎（佐川）
内田 安奈（安来市から）
瀬島 周治（半の上）
田川 典子（米子市から）
◎ごめい福を祈ります
（住所）（氏名）（年齢）（世帯主）
佐川 坂本 忠行 89歳 ちか子
新道 大塚 清 80歳 和子
美用 川上 清 98歳 孝士
宮原 大倉 孝士 母きみ系死去
宮原 川上 公行 父清死去
美用 大塚 和子 夫忠行死去
◎その他
サントリー労働組合／サントリー
プロダクト労働組合として

ご寄付
社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。（1月分） 敬称略
荒田 藤原 清枝 91歳 晴雄
杉谷 末次 清枝 84歳 雅雄
本谷 石原 清枝 98歳 本人
宮原 大倉 孝士 98歳 孝士
美用 川上 清 98歳 公行
新道 大塚 清 80歳 和子
佐川 坂本 忠行 89歳 ちか子
（住所）（氏名）（年齢）（世帯主）

新成人の抱負

希望に輝く新成人。
今後の抱負を色紙に書いていただきました！



町長後記



新しい年を迎えて、はや一月が過ぎました。町民の皆様には元氣にお過ごしのことと存じます。町では新年度予算の編成に忙しい日々を送っています。各課からの要望を受けて企画財政課の査定を終えています。限られた財源の中で、町民の皆様への安全で安心して暮らしていただける施策に意を注ぎながら、地方創生による「まち・ひと・しごと事業」に配慮していきたいと考えております。

さて、先月25日には、錬成会館空手道の寒稽古のご案内をいただき、日野町開発センターに出席しました。会場に入ると小学校低学年の子供さんから中学生の門下生がけいこに励んでいました。「礼に始まり礼に終わる」心構えでのけいこを拝見し、心さやかな時間を過ごさせていただきました。

まだまだ寒い日が続きますが、町民の皆様にはお体をご自愛いただきますようお願いいたします。